

<R7児童アンケートの結果に関する考察>

○Aランク+Bランクが90%を越える項目が多く、軒並み良好な学校生活を送ることができている。ただし、昨年度に比べると、AランクからBランクに下がったものも多い。

○「タブレットを使って学習するのは楽しい」の項目が肯定的にとらえている児童が97%と非常に多い。一人1台のタブレット端末を使用する頻度が高まっているからであろう。しかし、新しいタブレット端末式なり、使い慣れるのに時間がかかる児童に配慮しながら、また、故障や不具合、未充電などのトラブルもあることなどから、ICT活用能力に差が生じないように授業改善を進めていきたい。

○先生（教員）に対する評価が、いずれの項目も高い。教職員と児童との信頼関係が築けているためだと考えられる。授業や生徒指導を行う上で、最も大切となる基盤が構築できている。日頃の地道な努力が現れたと言えるだろう。

○「授業でわからないときは、先生に質問している」の項目はポイントが、昨年度に比べ、6ポイント向上している。何でも話せる雰囲気作り、間違えたり分からなかったりする児童も認められる学級づくりを今後も継続していきたい。

△「友だちのまちがった考えや行動には、注意することができている」の項目はポイントが、昨年度に比べ、高評価が17ポイント減った。みんなで規律を守り、注意し合う学級づくりや習慣をいかに身につけさせていかかということが大きな課題である。

△「学校へ行くのは楽しい」と肯定的に答えている児童が90%とかなり高い。しかし、昨年と比べると5%減少している。若干ではあるが「やや楽しくない」と思っている児童もいる。そのことも常に意識しながらその原因を取り除く工夫や努力をしていく。今後も児童が「学校が楽しい」と思える学校経営をめざしていく。

△「難しい問題でも、ねばり強く考えている」の項目はポイントが、昨年度に比べ、高評価が9ポイント減少した。授業方法に工夫を加え、発表や説明など表現力や積極性を育むとともに、根気強く取り組む学習意欲を育てていかなければいけない。

△「進んで運動に取り組み、体をきたえている」の項目が、昨年と比べ下落した。各学級での外遊びの推奨するとともに、個人の具体的な目標をたてさせるなど工夫し、健康維持・体力向上を図りたい。